

# 資料編

# 目次

避難所共同生活ルール .....	1
専用スペースでの生活ルール .....	2
特に注意を要する場面のルール .....	3
新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者への対応 .....	4
混雑時の注意喚起 .....	8
避難所に持っていくものリスト .....	9
問診チェックリスト .....	10
避難所衛生管理等チェックリスト .....	11
車中避難の危険性 .....	12
車中避難の注意事項 .....	13
車中避難チェックリスト .....	14
体調不良者への対応フロー図（車中避難者用） .....	15
エコノミークラス症候群の予防 .....	16
ガウンやエプロンの着脱方法 .....	17
身の回りを清潔にしましょう .....	18
トイレの清掃手順 .....	20
排泄物・おう吐物の処理 .....	21

# 感染防止のための避難所のルール

**感染を広げないため、次の点に注意してください！**

- 発熱，咳，咽頭痛，嘔吐，下痢などの体調不良が見られた場合は，すぐに受付に連絡してください。



- 避難所内で人と接する場合はマスクを着用しましょう。  
※マスクを常時着用できない乳幼児などもありますので配慮をお願いします。



※マスクを外す場面（食事，歯磨き，喫煙等）では感染リスクが高まりますので，特に注意してください。

- 個人占有区画に入る前には，消毒液で手指の消毒をしましょう。



- 食事の前やトイレに行った後，マスクを触った後は必ず手洗いをしましょう。

- 近距離での会話や大声での会話は，控えましょう。



- 避難所内は土足禁止です。室内履きに履き替えましょう。また，履き物は消毒液で消毒し，ビニール袋などに入れて保管しましょう。

**土足厳禁!**



- 食事中は会話は控えましょう。また，同じ方向に並んで座って食べるようにしましょう。

- 食事は家族単位で。ほかの避難者と集まって食べるのは控えましょう。








- ゴミはビニール袋などに入れて，各自で持ち帰りましょう。

**避難所の利用に当たっては，運営スタッフの指示に従ってください。**

# 専用区画で避難されている方へのお願い

## 専用区画では、以下のことにご協力ください。

- 体調が悪化した場合は、携帯電話で、  
すぐに下記に連絡してください。
- 毎日、朝と夕方に体温を計ってください。  
運営スタッフが健康状態を確認します。
- 原則、専用区画内に留まってください。  
万が一、専用区画のあるゾーンから外に出るときは、  
事前に下記に携帯電話で連絡してください。
- 専用区画に出入りの際には、必ず消毒液で  
手指消毒・石けんで手洗いをしてください。
- トイレは、専用区画のあるゾーン以外では使用しないで  
ください。  
使用後は、便座などを消毒してください。
- 専用区画の清掃は、各自で行ってください。
- ごみは、専用区画のあるゾーン内の専用ゴミ箱に  
分別して廃棄してください。
- 感染対策上、家族を含め、面会を行わないでください。

## 体調が悪化した場合の連絡先

# マスクを外す場面に気を付けましょう！！

マスクを外す場面では，感染リスクが高くなります。  
以下の場面では，時間をずらす，距離を取り会話を控えるなど  
三密を避けてください。

食事中



会話をする際はマスク着用

歯磨き中



会話は控えて  
流しは清潔に  
飛沫を飛ばさないように注意

喫煙中



なるべく禁煙  
喫煙は密集・密接を避け  
会話も控えて

令和3年6月1日

各市町村防災担当課長 } 殿  
各市町村避難所担当課長 }

鹿児島県危機管理防災局危機管理課長  
災害対策課長

### 新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者等の避難について（通知）

時下、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

本県の防災行政の推進につきましては、格別の御高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者等の避難について、別添のとおり令和3年5月31日付けくらし保健福祉部健康増進課長通知に基づき貴市町村感染症担当課及び保健所と連携して適切に対応いただくとともに、避難所における感染症対策につきまして、下記の資料等を参考に万全を期していただきますようお願いいたします。

なお、段ボールパーテーションなどの避難所における感染症対策に必要な物資の購入については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が活用できます(下記1 Q28以下参照) ので、念のため申し添えます。

#### 記

1. 避難所における新型コロナウイルス感染症への対応に関するQ&A（第3版）  
（令和3年5月13日府政防第626号外 内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（避難生活担当）他 通知）  
※当該通知には、避難所における新型コロナウイルス関係の通知等がまとめてあります。
2. 新型コロナウイルス感染症も含めた災害対策説明会資料  
（令和3年5月28日開催）
3. 避難所管理運営マニュアルモデル～新型コロナウイルス感染症対策指針～  
（令和2年6月 鹿児島県）
4. 避難所における新型コロナウイルス感染症対策の進捗状況及び令和2年7月豪雨における災害対応に関するアンケート調査結果（令和2年9月 災害対策課）

#### 問合せ先

鹿児島県危機管理課危機管理係  
担当：折田，上野  
TEL 099-286-2255, FAX 099-286-5519  
メールアドレス  
kikikn@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島県災害対策課災害対策係  
担当：池水，谷口  
TEL 099-286-2276, FAX 099-286-5519  
メールアドレス  
bousaits@pref.kagoshima.lg.jp

令和3年5月31日

各市町村感染症対策課長 殿

鹿児島県くらし保健福祉部健康増進課長

新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者等の避難について（通知）

避難所における新型コロナウイルス感染症への対応については、別添令和2年5月19日付けの当課からの通知で、厚生労働省健康局結核感染症課長他からの通知を送付したところです。

本格的な梅雨期及び台風期を迎え、河川の氾濫や土砂災害等の危険性が高まってくることから、上記通知等に基づき保健所と連携して適切に対応くださるようお願いいたします。

なお、今回、災害に備えて想定される保健所が対応すべき事項を別紙にとりまとめましたので、参考にしてください。

〔連絡先〕

健康増進課 感染症保健係 担当：内  
TEL：099-286-2724 FAX：099-286-5556  
mail：kansensy@pref.kagoshima.lg.jp

令和3年5月31日

各保健所長 殿

健康増進課長

新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者等の避難について（通知）

避難所における新型コロナウイルス感染症への対応については、別添令和2年5月19日付けの当課からの通知で、厚生労働省健康局結核感染症課長他からの通知を送付したところです。

本格的な梅雨期及び台風期を迎え、河川の氾濫や土砂災害等の危険性が高まってくることから、上記通知等に基づき市町村と連携して適切に対応くださるようお願いいたします。

なお、今回、災害に備えて想定される対応すべき事項を別紙にとりまとめましたので、参考にしてください。

市町村に対しても、当課から別途通知します。

〔連絡先〕

健康増進課 感染症保健係 担当：内  
TEL：099-286-2724 FAX：099-286-5556  
mail：kansensy@pref.kagoshima.lg.jp



## 新型コロナウイルス感染症を踏まえた災害時における対応について

## 1 基本的な対応

梅雨期、台風シーズンを迎え、災害発生時における避難について、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた対応を確認しておく必要がある。

災害発生時における避難は基本的には市町村が対応するが、新型コロナウイルス感染症の感染者や濃厚接触者の情報は保健所が保有しているため、事前に市町村に対して以下の事項を確認、協議しておく必要がある。

- (1) 濃厚接触者の避難場所
- (2) 避難手段がない濃厚接触者の避難方法
- (3) 災害発生時の濃厚接触者の避難に関する手順

上記について、現時点で市町村の方針等が固まっていなければ早急な対応を市町村と協議

## 2 自宅療養者や濃厚接触者の取扱い

本県においては、新型コロナウイルス感染症の患者は医療機関に入院又は宿泊施設に入所いただいているが、地域の医療提供体制等によっては一時的に自宅療養者が発生することが考えられる。

また、濃厚接触者については、避難所においてもできる限り人との接触を避ける必要がある。

よって、これらの者に対しては、疫学調査時等に以下のことを確認しておく。

- (1) ハザードマップで濃厚接触者等の住居における災害リスクを確認
- (2) 濃厚接触者等に避難手段の有無を確認
- (3) 濃厚接触者等に対して、災害時に避難に必要な場合に限定して、市町村と個人情報を共有することについて同意を得ておく

※同意を得た場合は、同意を得た日時や方法、職員の氏名等について記録しておく。

## 3 発生時の対応

上記1のとおり、市町村と避難手順について事前の確認をしておく必要があるが、災害の発生が予想される場合、以下のような対応が想定される。

- ・上記2の(1)により避難が必要な濃厚接触者へは、健康観察の連絡に合わせて、自宅避難か、避難所等へ避難するかを確認
- ・避難所へ避難する方については、市町村と情報共有し避難所の確保を要請
- ・移動手段を持たない高齢者等についての対応を市町村と調整

もし、上記2の(1)により避難が必要な自宅療養者がいた場合には、「高齢者等避難」が発令された段階で個別に連絡し、早めに宿泊施設や入院先を調整する。

# 混雑時には感染症対策をより徹底しましょう

避難所にたくさんの避難者が来た場合は、  
身体的距離が縮まります。

以下の対策・対応をより徹底しましょう！！



マスク着用



会話を控える



体調が悪いときには  
すぐに連絡



避難するときにまず持ち出すべきものの一例です。  
必要に応じて、非常用持出袋に入れ、玄関など持ちやすい場所に置いておきましょう。

## 非常用持ち出し品チェックリスト

- 家族構成に応じて準備することが重要です。
- 最低3日分（できれば1週間分）の準備をしましょう。

### 貴重品類

- 現金（小銭含む）
- 通帳，印鑑
- 保険証，免許証
- パスポート
- 母子健康手帳
- 障害者手帳



### 生活用品

- 携帯用カイロ
- 軍手，スリッパ
- ライター，マッチ
- 筆記用具
- 携帯用トイレ
- 着替え，歯ブラシ
- レジャーシート



### 避難（情報収集）用具

- 携帯電話（充電器含む）
- モバイルバッテリー
- 携帯ラジオ
- 懐中電灯
- 予備電池
- ヘルメット
- 防災ずきん



### 非常食品

- 乾パン・缶詰
- 栄養補助食品
- 飲料水
- アメ・チョコレート



### 救急用具

- 救急用具
- 常備薬
- お薬手帳



### 感染症対策

- マスク
- 手指消毒液
- 体温計
- 液体せっけん
- タオル，除菌ペーパー
- ビニール袋



# 問診チェックリスト

記入日：令和 年 月 日

お名前	性別	年齢	ご連絡先	体温

以下の項目についてご記入ください。

チェック項目		回答	
1	新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者ですか (保健所から濃厚接触者として指定されましたか)	はい	いいえ
2	1の濃厚接触者ではないが、直近2週間以内に新型コロナウイルス感染者と接触しましたか	はい	いいえ
	直近2週間以内の緊急事態宣言対象地域やまん延防止等重点措置の適用地域等の他地域や海外に移動しましたか	はい	いいえ
	「はい」の場合、専用区画を希望しますか	はい	いいえ
3	新型コロナウイルスワクチンを接種しましたか	はい	いいえ
4	発熱はありますか(37.5° 以上)	はい	いいえ
5	せき、たん、鼻水、のどの痛みなどの症状がありますか	はい	いいえ
6	お腹の痛み、吐き気、下痢などの症状がありますか	はい	いいえ
7	においや味を感じないですか	はい	いいえ
8	全身のだるさ、息苦しさはありますか	はい	いいえ
9	筋肉痛など身体に痛みはありますか	はい	いいえ
10	ぜんそく、糖尿病、高血圧などの基礎疾患はありますか (疾患名： )	はい	いいえ
11	現在、医療機関等に通院していますか (症状： )	はい	いいえ
12	現在、お薬を飲んでいますか (お薬名： )	はい	いいえ
13	そのほか、気になる症状はありますか	はい	いいえ
	「はい」の場合、具体的にご記入ください。		
14	介護や介助が必要ですか	はい	いいえ
15	まわりに介護や介助が必要な人はいますか	はい	いいえ
16	妊娠中ですか	はい	いいえ
17	乳幼児と一緒にいますか	はい	いいえ
18	そのほか、気になることはありますか	はい	いいえ
	「はい」の場合、具体的にご記入ください。	はい	いいえ

## 避難所衛生管理等チェックリスト

- ① 常時行う対応
- ② 新型コロナウイルス感染症等対応（ノロウイルスやインフルエンザも含む）
- ③ 感染対策上より望ましい対応（可能な範囲で）

	環境衛生			食事	手指衛生	マスク
	居住スペース	トイレ	換気			
① 常時行う対応	<input type="checkbox"/> 清浄な水の確保 <input type="checkbox"/> 定期的な清掃 <input type="checkbox"/> 土足厳禁の周知 <input type="checkbox"/> 避難所の禁煙化 <input type="checkbox"/> 避難所共同生活ルールの掲示	<input type="checkbox"/> 便器のふたを閉めて流すことの周知 <input type="checkbox"/> 定期的な清掃，点検 <input type="checkbox"/> 手指消毒液，ハンドソープの設置 <input type="checkbox"/> トイレ後の手指消毒の周知 <input type="checkbox"/> 清掃時の消毒作業 <input type="checkbox"/> 清掃時の使い捨て手袋の使用 <input type="checkbox"/> トイレ使用ポスターの掲示	<input type="checkbox"/> 定期的な換気	<input type="checkbox"/> 家族単位での食事の周知 <input type="checkbox"/> 黙食の周知 <input type="checkbox"/> 食事前後に流水とせっけんで手洗いの周知	<input type="checkbox"/> 流水とせっけんで手洗いの周知 <input type="checkbox"/> 手指消毒液，液体せっけんの設置	<input type="checkbox"/> マスクの着用の周知
② 新型コロナウイルス感染症等対応	<input type="checkbox"/> 三密防止 <input type="checkbox"/> 消毒液を使った避難所内の手をよく触れる箇所や共有物品の消毒作業 <input type="checkbox"/> 専用区画の設置 <input type="checkbox"/> パーティションの設置	<input type="checkbox"/> 発熱者等の専用トイレの設置	<input type="checkbox"/> 常時換気 <input type="checkbox"/> 扇風機等を使った機械的換気	<input type="checkbox"/> 距離の確保の周知 <input type="checkbox"/> 同じ方向に並び、対面で食事をしないことの周知	<input type="checkbox"/> 手指消毒の周知	<input type="checkbox"/> マスクの提供 <input type="checkbox"/> 不織布マスク着用の周知
③ 感染対策上より望ましい対応	<input type="checkbox"/> 段ボールベッドの設置	<input type="checkbox"/> 発熱者等の携帯トイレの準備 <input type="checkbox"/> ペーパータオルの設置 <input type="checkbox"/> 除菌シートの設置	<input type="checkbox"/> CO2モニターによる換気状況の把握 ※換気が困難な小さな避難所では配置することが望ましい	<input type="checkbox"/> 個食の周知	<input type="checkbox"/> 継ぎ足しをしない ※空にして洗浄乾燥後に補充	

※ 避難者，避難所となる施設，地域等の状況を勘案し，項目の加除・変更を検討してください。

# 車中避難の危険性

安全な駐車場等で車中避難できたとしても、**エコノミークラス症候群**や**熱中症**などの危険性があります。  
また、過去の災害においても**車避難中に多くの方が亡くなって**おります。

**※車中避難は推奨しておりません。  
可能な限り避難所をご利用ください！！**

やむを得ず車中避難を考えられている方は、以下の点にご注意ください。

## ★事前に注意する事項

- ① 車中避難が可能で安全な避難場所か確認してください。
- ② 車中避難に必要なものを準備してください。  
(例) 食料, 飲料水 (成人1日あたり1.0~1.5L), 衣類, マスク, 消毒液, 薬, 簡易トイレ  
暑さ・寒さ対策グッズ, 弾性ストッキング, 熱中症対策グッズ, 防犯グッズ
- ③ 給油を十分に行ってください。
- ④ 高齢者や妊婦, 基礎疾患などのある方などは, 車中避難を避けてください。

## ★避難時に注意する事項

- ① 長時間 (3日以上) の車中避難は避けてください。
  - ・ 長時間の車中避難は, エコノミークラス症候群などの発症リスクが特になくなります。  
(2日以内であってもエコノミークラス症候群発症による死亡例はありますので, 車中避難は避けてください。)
- ② エコノミークラス症候群対策を徹底してください。
  - ・ 定期的な運動 (数時間おきの散歩やラジオ体操), 下肢のマッサージ
  - ・ 適度な水分補給
  - ・ 長時間, 同じ姿勢を避ける。
  - ・ 弾性ストッキングを履く。
  - ・ 車内の座席をフラット (水平) にする。
  - ・ トイレを我慢しない。(利用可能なトイレについては運営スタッフにご確認ください。)
- ③ 熱中症にご注意ください。
  - ・ こまめな水分補給
  - ・ 車内の温度管理 (25~28℃が望ましい)
- ④ 一酸化炭素中毒防止のため, エンジンのかけっぱなしにご注意ください。
  - ・ ドアや窓を開け, 定期的に換気を行う。
- ⑤ 防犯対策を行ってください。
  - ・ 車上荒らしや盗難などにあう可能性があるため, ドアや窓の施錠に気をつけること
  - ・ 照明がある場所や人気がある場所に駐車する。
- ⑥ 避難所の運営スタッフと健康確認を行ってください。
  - ・ 車中避難を開始や終了する際, また体調不良になった際は, 必ず運営スタッフに連絡すること
  - ・ **スタッフ名 :** **連絡先 :**

# 車中避難の注意事項

※車中避難は推奨しておりません。  
可能な限り避難所をご利用ください。

やむを得ず車中避難を考えている方は  
以下の点にご注意ください。

## ★注意事項

- ① **長時間（3日以上）の車中避難は避けてください。**
  - ・ 長時間の車中避難は、エコノミークラス症候群などの発症リスクが特に高くなります。（2日以内であっても、エコノミークラス症候群発症による死亡例はありますので、車中避難は避けてください。）
- ② **エコノミークラス症候群対策を徹底してください。**
  - ・ 定期的な運動（数時間おきの散歩やラジオ体操）、下肢のマッサージ
  - ・ 適度な水分補給
  - ・ 長時間、同じ姿勢を避ける。
  - ・ 弾性ストッキングを履く。
  - ・ 車内の座席をフラット（水平）にする。
  - ・ トイレを我慢しない。（利用可能なトイレについては運営スタッフにご確認ください。）
- ③ **熱中症にご注意ください。**
  - ・ こまめな水分補給
  - ・ 車内の温度管理（25～28℃が望ましい）
- ④ **一酸化炭素中毒防止のため、エンジンのかけっぱなしにご注意ください。**
  - ・ ドアや窓を開け、定期的に換気を行う。
- ⑤ **防犯対策を行ってください。**
  - ・ 車上荒らしや盗難などにあう可能性があるため、ドアや窓の施錠に気をつけること
  - ・ 照明がある場所や人気がある場所に駐車する。
- ⑥ **避難所の運営スタッフと健康確認を行ってください。**
  - ・ 車中避難を開始や終了する際、また体調不良になった際は、必ず運営スタッフに連絡すること
  - ・ **スタッフ名：** **連絡先：**

### ◆車中避難に必要なもの

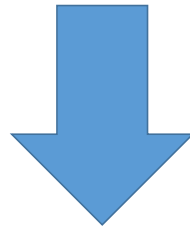
食料、飲料水（成人1日あたり1.0～1.5L）、衣類、マスク、消毒液、薬  
簡易トイレ、暑さ・寒さ対策グッズ、弾性ストッキング、熱中症対策、防犯グッズ





# 体調不良者への対応フロー図（車中避難者用）

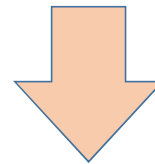
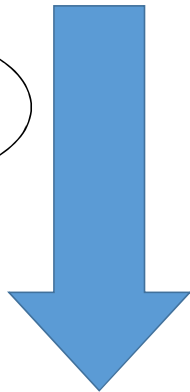
車中避難者から体調不良の申し出



〔※救急搬送が必要な場合は  
速やかに救急車を要請〕

- ・本部（役場）及び保健所への連絡・相談（医療機関の受診を検討）
- ・換気可能な専用区画への移動  
（個室を設けることができない場合は、パーティションで区切るか、車中待機）

医療機関を  
受診する場合

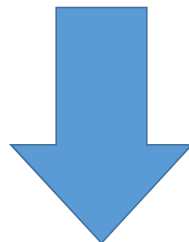


医療機関を  
受診しない場合

健康観察

## 医療機関への搬送

- ・同伴者がいる場合は、同伴者の運転で自家用車による搬送を依頼
- ・同伴者がいない場合等は、タクシーまたは職員による搬送
- ・緊急の場合は、救急車を要請



## 受診・検査結果の確認

- ・対策本部及び保健所と情報共有
- ・専用区画の消毒，掃除

# エコノミークラス症候群の予防のために

## ○ エコノミークラス症候群とは

食事や水分を十分に取らない状態で、車などの狭い座席に長時間座っていて足を動かさないと、血行不良が起こり血液が固まりやすくなります。その結果、血の固まり(血栓)が血管の中を流れ、肺に詰まって肺塞栓などを誘発する恐れがあります。

## ○ 予防のために心掛けると良いこと

予防のためには、

- ① ときどき、軽い体操やストレッチ運動を行う
  - ② 十分にこまめに水分を取る
  - ③ アルコールを控える。できれば禁煙する
  - ④ ゆったりとした服装をし、ベルトをきつく締めない
  - ⑤ かかとの上げ下ろし運動をしたりふくらはぎを軽くもんだりする
  - ⑥ 眠るときは足をあげる
- などを行いましょう。

## ○ 予防のための足の運動



図1 個人防護具の種類と着脱手順例

【通常の場合】



【N95 マスクの着用を要する場面\*】

※気管挿管, NPPV, 気管切開, 心肺蘇生, 用手換気, 気管支鏡検査など一時的に大量のエアロゾルが生じる処置の実施時



# 新型コロナウイルス対策 身のまわりを清潔にしましょう。

石けんやハンドソープを使った  
丁寧な手洗いを行ってください。

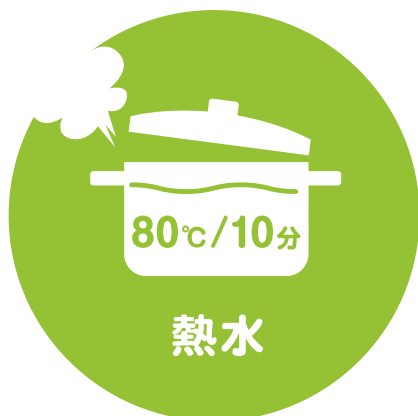


手洗いを丁寧に行うことで、十分にウイルスを除去できます。さらにアルコール消毒液を使用する必要はありません。

手洗い		残存ウイルス
手洗いなし		約 100 万個
石けんや ハンドソープで 10秒もみ洗い後 流水で 15秒すすぐ	1回	約 0.01% (数百個)
	2回 繰り返す	約 0.0001% (数個)

(森功次他：感染症学雑誌、80:496-500,2006 から作成)

食器・手すり・ドアノブなど身近な物の消毒には、アルコールよりも、熱水や塩素系漂白剤、及び一部の洗剤が有効です。



食器や箸などは、80℃の熱水に10分間さらすと消毒ができます。

火傷に注意してください。



濃度 0.05% に薄めた上で、拭くと消毒ができます。

ハイター、ブリーチなど。裏面に作り方を表示しています。

※目や肌への影響があり、取り扱いには十分注意が必要です。  
※必ず製品の注意事項をご確認ください。  
※金属は腐食することがあります。



有効な界面活性剤が含まれる「家庭用洗剤」を使って消毒ができます。

NITE ウェブサイトで製品リストを公開しています。

[NITE 洗剤リスト](#) [検索](#)

[こちらをクリック](#)



参考

# 0.05%以上の次亜塩素酸ナトリウム液の作り方



【使用時の注意】

- ・換気をしてください。
- ・家事用手袋を着用してください。
- ・他の薬品と混ぜないでください。
- ・商品パッケージやHPの説明をご確認ください。

以下は、次亜塩素酸ナトリウムを主成分とする製品の例です。  
商品によって濃度が異なりますので、以下を参考に薄めてください。

メーカー (五十音順)	商品名	作り方の例
花王	ハイター キッチンハイター	水 1L に本商品 25mL (商品付属のキャップ 1 杯) <sup>※</sup> ※次亜塩素酸ナトリウムは、一般的にゆっくりと分解し、濃度が低下して いきます。購入から3ヶ月以内の場合は、水 1L に本商品 10ml (商品 付属のキャップ 1/2 杯) が目安です。
カネヨ石鹼	カネヨブリーチ カネヨキッチンブリーチ	水 1L に本商品 10mL (商品付属のキャップ 1/2 杯)
ミツエイ	ブリーチ キッチンブリーチ	水 1L に本商品 10mL (商品付属のキャップ 1/2 杯)

(プライベートブランド)

ブランド名 (五十音順)	商品名	作り方の例
イオングループ (トップバリュ)	キッチン用漂白剤	水 1L に本商品 10mL (商品付属のキャップ 1/2 杯)
西友 / サニー / リヴィン (きほんのき)	台所用漂白剤	水 1L に本商品 12mL (商品付属のキャップ 1/2 杯)
セブン&アイ・ ホールディングス (セブンプレミアム ライフスタイル)	キッチンブリーチ	水 1L に本商品 10mL (商品付属のキャップ 1/2 杯)

※上記のほかにも、次亜塩素酸ナトリウムを成分とする商品は多数あります。  
表に無い場合、商品パッケージやHPの説明にしたがってご使用ください。

洗剤の使い方はこちら▶▶▶  
[こちらをクリック](#)



トイレをきれいに使っていただき、ありがとうございます!

# みんなのトイレ みんなできれいに 気持ちよく



トイレ前には、速乾性アルコール手指消毒薬を設置して、手指衛生を行いましょう。

用意する物 使い捨て手袋・ゴム手袋、マスク、ほうき、ちりとり、バケツ、トイレタワシ、消毒薬（ハイターなど）、トイレ掃除シート・新聞紙や布等、ゴミ袋

## 清掃手順

- 1 マスクと使い捨て手袋(ゴム手袋<sup>\*1</sup>)を着用する
- 2 トイレのドアを開け、風通しを良くする
- 3 ほうきで床をはく
- 4 汚物の入ったゴミ袋を交換する
- 5 バケツの水で消毒薬(ハイター等)を希釈する。[ハイターの場合はバケツの水1杯(約5ℓ)にキャップ4杯位(約20cc)]
- 6 ドアノブ、手すり、水洗レバー、タンク、フタ、便座、便器の外側、タイル(床)等の順で、消毒薬を薄めた布等をひたし、しっかりしぼってからふく<sup>\*2</sup>
- 7 複数のトイレの掃除を行う際は、各々の環境を清掃してから、便器の清掃をまとめて行う。
- 8 便器の内側は、消毒薬<sup>\*3</sup>(トイレハイター、ドメスト、サンポールなど原液)をかけ、2~3分後にこすらずに水で流す(汚れには、トイレタワシ等を用いる)
- 9 手袋をはずし、なくなっているトイレットペーパーを補充する
- 10 清掃が終わったら、手洗い<sup>\*4</sup>をする



<sup>\*1</sup> 消毒薬の原液やタワシ・ブラシなどを用いる際には、厚手のゴム手袋が望ましい。

<sup>\*2</sup> 清掃時に使う布や紙は、便器と、その他の清潔部位は分けて使うこと。

<sup>\*3</sup> 塩素系消毒薬(トイレハイター、ドメスト)、塩酸系消毒薬(サンポール)などがある。

<sup>\*4</sup> 水道が復旧していない場合には、速乾性アルコール消毒薬を用いる。



## 消毒薬を使う際の注意

1. 有毒ガスが発生するため、酸と塩素系は決して混ぜて使用しないこと。
2. 消毒薬を希釈するペットボトルは専用と明記し、誤って飲むことがないように注意する。

## ●排泄物・おう吐物の処理

ふん便やおう吐物の処理は、処理をする人自身への感染と、施設内への汚染拡大を防ぐため、適切な方法で、迅速、確実に行うことが必要です。

### あらかじめ準備しておく物品

使い捨て手袋、マスク、ガウンやエプロン、拭き取るための布やペーパータオル、ビニール袋、次亜塩素酸ナトリウム、専用バケツ、その他必要な物品

- ① 汚染場所に関係者以外の人が近づかないようにします。
- ② 処理をする人は使い捨て手袋とマスク、エプロンを着用します。



カーペット等は色に変色する場合があります。

- ⑤ おう吐物が付着していた床とその周囲を、0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染み込ませた布やペーパータオル等で覆うか、浸すように拭きます。



次亜塩素酸ナトリウムは鉄などの金属を腐食するので、拭き取って10分程度たったら水拭きします。

- ③ おう吐物は使い捨ての布やペーパータオル等で外側から内側に向けて、拭き取り面を折り込みながら静かに拭き取ります。



同一面でごすると汚染を拡げるので注意してください。

- ⑥ 使用した着衣は廃棄が望ましいですが、消毒する場合は下記の手順で行います。

- ① 付着したおう吐物を取り除く（手袋着用）。
- ② 熱湯につけるか、0.02%の次亜塩素酸ナトリウムに30～60分つける（P.4を参照）。
- ③ 他のものと別に洗濯機等で洗濯する。



- ④ 使用した使い捨ての布やペーパータオル等はすぐにビニール袋に入れ処分します。



ビニール袋に0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染み込む程度に入れ消毒しましょう。

- ⑦ 手袋は、付着したおう吐物が飛び散らないよう、表面を包み込むように裏返してはずします。手袋は、使った布やペーパータオル等と同じように処分します。



処理後は手袋をはずして手洗いをします。

### ※その他の留意点

- 吐物処理後は、調理や配膳などに従事しない。
- 可能なならば、吐物処理後にシャワーを浴びるのが望ましい。

### 【ポイント】

- おう吐物を処理した後48時間は感染の有無に注意してください。
- おう吐物の処理時とその後は、大きく窓を開けるなどして換気し、換気設備がある場合には必ず運転してください。